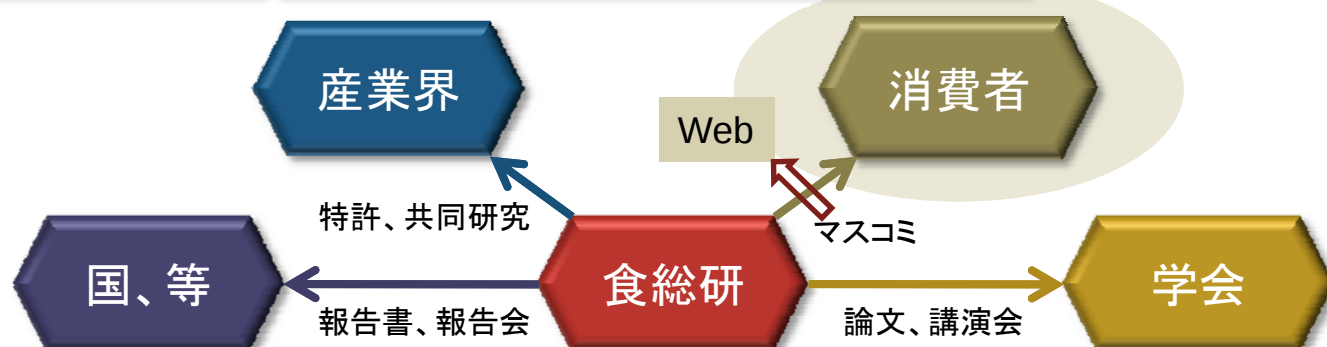


安全・安心

食総研の研究成果をわかりやすく発信する —専門家でない人にも役に立つ情報発信方法の研究—

技術の特徴 いつでもどこでも誰でも、臨場感、参加型

研究の背景 消費者へ向けた情報発信の重要性

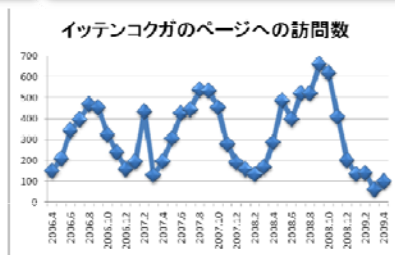


実施状況 受動的⇒臨場感、参加型



今後の展開 サイト訪問者の気持ちの理解

例.
貯穀害虫図鑑
アクセス解析



[参考文献]

●曲山幸生、他「食総研における新しい研究成果発信方法の活用—消費者を重視したコミュニケーションを目指して—」、情報管理、Vol.51, pp.116-128, (2008)

●曲山幸生、他「エゴチャットを活用した食品クイズシステムの開発」、食品総合研究所研究報告、No.73, pp.23-29, (2009)



農研機構
食品総合研究所



代表研究者: 曲山幸生
所 属: 食品工学研究領域
上席研究員

問合わせ先: 029-838-8054 maga@affrc.go.jp